

緊急声明

「日本版 NIH」構想における資源配分と人材育成プロセスへの懸念

2013年6月11日

政府の「産業競争力会議」を中心として議論されている「日本版NIH（仮称）」という構想につきまして、生命の真理を探求することをその学問理念の中心に据える生物科学連合に所属する諸学会（末尾参照）として、いくつかの懸念を感じています。国民の健康を支える医療を革新するための研究開発は国として重要な施策に位置づけられることは論を待たず、そのために省庁の枠を越えた研究費を設立することなどは大いに試されるべき構想と考えられます。一方で、4月23日付けで公開されている「日本版NIHの骨子」の資料を拝見するかぎりでは、その中味が必ずしも十分に検討されておらず、構想だけが一人歩きしているような感があります。このことは将来の学術、とりわけ生命科学の発展に大きな影響を与えるものと考えられ、我々はここに緊急声明を出し、以下のことを強く要望いたします。

1. 多様性をもつボトムアップ型の基礎研究の推進

研究者の自由な発想に基づくボトムアップ型の基礎研究は学問の根源を成すものであり、その芽を摘むことはむしろ、真のイノベーションを損なうものとなりかねない。本連合に所属する学会の学問分野が多岐にわたることからもわかるように、そこには多様性が必要であり、医療という出口を目指したものだけが基礎研究として支援されるようなことがあってはならない。

2. 研究を支える次世代の人材育成の推進

医療イノベーションに向けた研究開発のみを「日本版NIH」で推進することになれば、具体的な成果に直結する研究が偏重されるようになり、自由で革新的な発想を抱く若手研究者を生み出し育むことができない。研究人材は持続的な育成が必要であり、さらに今後はよりいっそう学問分野の枠を越えた幅広い連携・融合が推進されるべきである。資源に乏しい我が国において、人材こそが国の礎であることは施策の中核におかれるべき柱である。

3. 真のイノベーションに繋がる適切な予算措置

「日本版NIH（仮称）」では、内閣に推進本部を設置し、医療分野の研究開発関連予算を一元化し、戦略的・重点的に予算配分を行うとしている。しかしながら、現在でも米国に比べて予算規模が圧倒的に少ない日本において、医療分野に特化した研究開発を偏重することは、限られた資源配分方針に混乱を招き、学問の自由と未来を奪うことになる。例えば、科学研究費補助金（以下、科研費）は、研究者の自由な発想に基づくボトムアップ型の研究をサポートするほぼ唯一の公的研究資金であり、平成25年度を例にとれば、その額は、国の科学技術関係予算3兆5752億円の6.5%弱、2318億円に過ぎないが、これによって支えられている研究者は10万人をはるかに越えている。このボトムアップ型の予算を削減し、国が目標を定めて研究の一元的管理を行う、いわゆる

トップダウン型研究を実施する日本版N I H（仮称）に予算を振り向けることにしてしまうと、国際的に見ても圧倒的に手薄い我が国のボトムアップ型研究支援がさらに劣化するとともに、次世代の多様な研究人材育成がおぼつかなくなる。

上記のような理由により、「日本版N I H（仮称）」構想に至った経緯について敬意を表すものの、「日本版N I H（仮称）」の設置における資源の配分と人材育成プロセスに強い懸念をここに表明し、関係者の皆様方に検討を要請する次第です。

生物科学学会連合 賛同加盟団体(27 団体)

個体群生態学会 会長 斎藤 隆
日本味と匂学会 会長 宮本 武典
日本遺伝学会 会長 遠藤 隆
日本宇宙生物科学会 会長 大西 武雄
一般社団法人日本解剖学会 理事長 河田 光博
日本細胞生物学会 会長 目加田英輔
日本時間生物学会 理事長 近藤 孝男
公益社団法人日本実験動物学会 理事長 八神 健一
公益社団法人日本植物学会 会長 戸部 博
日本植物生理学会 会長 町田 泰則
日本進化学会 会長 倉谷 滋
日本神経化学会 理事長 木山 博資
公益社団法人日本生化学会 会長 石川 冬木
日本生態学会 会長 松田 裕之
日本生物教育学会 会長 米澤 義彦
日本生物物理学会 会長 難波 啓一
一般社団法人日本生理学会 会長 栗原 敏
日本蛋白質科学会 会長 中村 春木
公益社団法人日本動物学会 会長 阿形 清和
日本発生生物学会 会長 阿形 清和
日本比較生理生化学会 会長 神崎 亮平
日本比較内分泌学会 会長 竹井 祥郎
日本微生物生態学会 会長 南澤 究
特定非営利活動法人日本分子生物学会 理事長 大隅 典子
特定非営利活動法人日本免疫学会 理事長 斎藤 隆
公益社団法人日本薬理学会 理事長 岩尾 洋
日本分類学会連合 代表 鶴崎 展巨
加盟団体(25 団体)
種生物学会 会長 川窪 伸光
地衣類研究会 会長 濱田 信夫

日本貝類学会 会長 大越 健嗣
日本魚類学会 会長 木村 清志
日本菌学会 会長 奥田 徹
日本蜘蛛学会 会長 宮下 直
日本珪藻学会 会長 真山 茂樹
日本原生動物学会 会長 今井 壯一
日本甲虫学会 会長 新里 達也
日本古生物学会 会長 間嶋 隆一
日本昆虫学会 会長 沼田 英治
日本シダ学会 会長 村上 哲明
日本植物分類学会 会長 角野 康郎
日本進化学会 会長 倉谷 滋
日本生物地理学会 会長 森中 定治
日本蘚苔類学会 会長 秋山 弘之
日本線虫学会 会長 水久保隆之
日本藻類学会 会長 田中 次郎
日本ダニ学会 会長 上遠野富士夫
日本地衣学会 会長 高橋 邦夫
日本動物分類学会 会長 松井 正文
日本土壌動物学会 会長 金子 信博
日本爬虫両生類学会 会長 松井 正文
日本プランクトン学会 会長 石丸 隆
日本哺乳類学会 理事長 梶 光一

オブザーバー賛同団体

自然史学会連合 代表 北里 洋

その他賛同団体

日本水産学会 会長 渡部 終五

マリンバイオテクノロジー学会 会長 渡部 終五

連絡先

生物科学学会連合 副代表 福田 裕穂

東京都文京区本郷 2-26-11 浜田ビル 5階 中西印刷株式会社東京営業部内

TEL: 03-3816-0738 FAX: 03-3816-0766

E-mail: seikaren@nacoss.com